

こっこめ通信 01 2015

「師走はやっぱりバタバタ」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

明けましておめでとうございます。昨年はたくさんの方々のご来館、誠にありがとうございました。2015年もビジターセンター・公園職員共にみなさまに楽しんでいただけるように頑張りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。2015年は未年。島に羊はいませんが、いろいろな羊歯植物（シダ植物）が見られます。似たような姿形で敬遠されがちな羊歯植物ですが、羊年を期に見分けに挑戦するのもいいかもしれませんね。

さて、今回は「クラフト行事いろいろ」「魅惑のウミウシアイランド」のお話です。

クラフト行事いろいろ

12月はクリスマスに関するクラフト行事を開催しました。一つ目は12日に未就学児と保護者対象の「親子で作ろう！HAPPY TREE」、二つ目は21日に小学生以上対象（3年生以下は保護者とひとつ作成）の「リースを作ろう」、三つ目は23日に誰でも参加できる「ミニツリーを作ろう」でした。対象年齢によって難しさを変えています。



「親子で作ろう！HAPPY TREE」

土台は園内で伐採した樹木を輪切りにしたものです。紙粘土を雪に見立て、オオバヤシャブシの果穂を4段に積み上げツリーも作ります。ペイントしたマテバシイのトトロや事前に作っておいたトナカイを雪の上に載せました。また、使えなくなった色鉛筆を細かく切ったものをアクセントとして使用しています。紙粘土が乾くのに時間がかかり、子供たちが持つとポロポロと落ちてしまったのは反省点でした。



「リースを作ろう」

今年はトゲナシサルトリイバラの蔦で編んだ土台を事前に用意しておきました。土台に付ける緑はカイヅカイブキの葉を利用し、ワンポイントにリボン。そして飾りは金と銀に塗ったクロマツの球果やハマボスの種殻、トゲナシサルトリイバラの赤い実、オオバヤシャブシの果穂などを使用しました。自分の感じるままにグルーガンで自由に貼り付けます。今回も出来上がったリースは力作揃いでした。



「ミニツリーを作ろう」

緑色に塗ったマツブックリとそのままのマツブックリの2種類用意しましたが、緑の方が人気がありました。クラフトとしては、彩色したいろいろな実や殻を木工用ボンドで貼り付けて飾るだけ。ツリーの土台は伐採した枝を輪切りにして使用しました。開始前からたくさんの人が集まり、作業台がいっぱいになってしまう緊急事態も発生。1時間30分の行事でしたが、48個のミニツリーが出来上がりました。



「アカコッコ」は日本固有のツグミ科の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

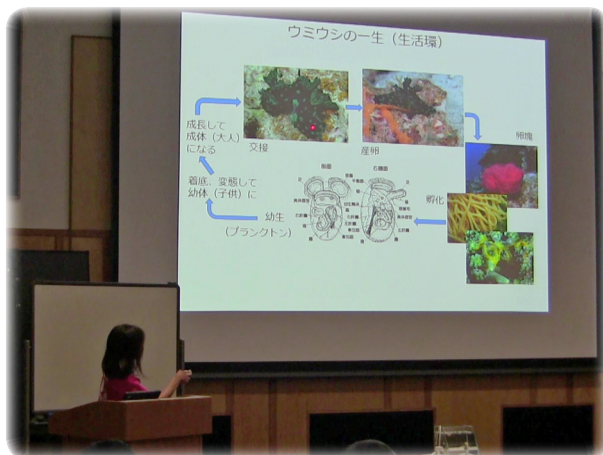
魅惑のウミウシアイランド

12月6・7日の2日間、ウミウシ博士の中野理枝氏を講師にお招きし、ウミウシに関する行事を開催しました。

6日は、講演会「**知ってるようで知らないウミウシのおはなし**」。内地からはるばるお越し頂いたお客様を含め44名の満員御礼となりました。19時30分から21時までの1時間半はあっという間に過ぎ、もう少しウミウシの話を聞きたかったという声もありました。

講演は、自己紹介から始まり、ウミウシの基礎講座、ウミウシの食生活、ウミウシの夜の生活、八丈島のウミウシの多様性についてなど、ウミウシを知っている人も知らない人も楽しめる内容でした。基礎講座は、「ウミウシは何の仲間でしょうか？ A：カキ、B：アワビ、C：ハマグリ」という質問から始まりました。AとCは二枚貝で、Bは巻き貝、ウミウシは巻き貝の仲間なので、答えは「B」でした。巻き貝の仲間ですが、貝は成長の段階で脱ぎ捨ててしまうそうです。食生活では、貝殻を捨てたウミウシは毒のある生きものを食べ、その毒を自分の防御に利用している。また、解毒にはコストがかかるので、特定の決まったものしか食べないそうです。繁殖では、ほぼすべてのウミウシがオスでもありメスである同時性雌雄同体であり、出会えばお互いに交配することができるそうです。雄性生殖器官を交配するたびに使い捨てる不思議なウミウシのお話もありました。

最後に八丈島のウミウシの特徴として、黒潮が当たっている時は南方系のウミウシが見られ、南下して水温が下がってしまった時は温帯系のウミウシが見られること。また、以前ウミウシの仲間に加えられていた異鰓類（ミスガイなど）も非常に多く見られること。そして、他の地域では見られないウミウシがいること。**ヒアドーリス・フェロースイ**【*Hiatodoris fellowsi*】は、ハワイ固有種と言われていましたが、小笠原や八丈島などでも見つかっています。**コンガスリウミウシ**【*Chromodoris* sp.】は、小笠原から八丈島・三宅島でしか確認されていないので地域限定種？かも知れません。**コモンウミウシ属の一種**【*Chromodoris* sp.】は、八丈島の他にサイパンなどでも確認されています。八丈島はウミウシの数が多いだけでなく、種類がとても多く、多様性が高い場所であり、「魅惑のウミウシアイランド」と名付けていただきました。



ヒアドーリス・フェロースイ



コンガスリウミウシ



コモンウミウシ属の一種

7日は、実際にウミウシを観察して、中野博士に質問できる**体験型行事「ウミウシに会いたい」**を開催しました。前日の講演会は小学4年生以上を対象にしていたので、小さな子供たちにも楽しんでもらおうと企画した行事です。

八丈島で採集した17種30匹のウミウシを水槽や小瓶に入れて間近でじっくりと観察してもらいました。16cmの大きなミカドウミウシは大人気！水槽の中で外套膜をヒラヒラさせて泳ぐ姿は、英名のフラメンコダンサーそのものです。アメフラシの卵を実体顕微鏡で見ると、卵の中でクルクルと動き回っていました。参加してくれた子供たちが将来ウミウシ研究者になってくれたらうれしいですね。



八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きもので季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。平成 26 年最後の調査会は 12 月 14 日に行いました。

八丈植物公園季節調査（平成 26 年第 12 回） 参加者：沖山、矢野、菊池昭、金田、黒田、石高、VC 菊池

NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態
草本			木本			シダ植物		
1	アオツツラフジ	熟した実	1	アオキ	実	1	イシカグマ	
2	アオノクマタケラン	熟した実	2	イヌビワ	実	2	ウチワゴケ	
3	アシタバ	実	3	オオバヤシャブシ	実	3	オオイタチシダ	
4	アシボソ	実	4	オオムラサキシキブ	実、今年は多い	4	オオタニワタリ	
5	アツバスマシ	花	5	シマクサギ	熟した実	5	オニヤブソテツ	
6	イワニガナ	花	6	シロダモ	花	6	タチクラマゴケ	紅葉したものも
7	ウスベニニガナ	花と実	7	スダジイ	実の虫コブ	7	タチシノブ	
8	エダウチチヂミザサ	実	8	タイミンタチバナ	熟した実	8	タマシダ	
9	オニタビラコ	花と実	9	トベラ	割れた実	9	トラノオシダ	新しい株
10	オヒシバ	実	10	ハチジョウイボタ	実	10	ナチシケシダ	
11	カモジグサ	実	11	ハチジョウキブシ	蕾	11	ノキシノブ	
12	カヤツリグサ	実	12	ヒサカキ	蕾	12	ハチジョウカナワラビ	
13	カラムシ	実	13	ヒメユズリハ	熟した実	13	ハチジョウシダ	
14	キランソウ	花	14	ホウライカズラ	実	14	ハチジョウベニシダ	
15	コナスビ	花	15	ホルトノキ	実	15	ヒトツバ	
16	コニシキソウ	実	16	マサキ	実	16	ホシダ	
17	シマウチワドコロ	実	17	マンリョウ	熟した実	17	マツバラン	胞子囊が目立つ
18	シマササバラン	実	18	モクレイシ	実	18	マメヅタ	
19	ススキ sp.	実	19	モチノキ	実			
20	タケダグサ	花	20	ヤツデ	花と実			
21	タネツケバナ	花と実	21	ヤブツバキ	花			
22	チヂミザサ	実	22	ヤブニッケイ	熟した実			
23	ツルソバ	花と実						
24	ツワブキ	花と実	今回はシダ植物 18 種を含む 74 種の植物を観察しました。曇りがちで非常に寒く、調査はやや早めに切り上げました。最近公園内で何度か観察されているアオバトを狙って双眼鏡を携帯したのですが残念ながら出現せず、野鳥はヒヨドリとキジバト、一瞬上空を飛び去るカラスバトを見かけただけでした。					
25	ナキリスゲ	実						
26	ハナイバナ	花						
27	ヒナギキョウ	実						
28	ヒノキバヤドリギ	実						
29	フウトウカズラ	実						
30	ブラジルコミカンソウ	実						
31	ヘクソカズラ	実						
32	ベニバナボロギク	花						
33	ムラサキカタバミ	花						
34	ヤブマオ	実						

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、海岸で見られる「ハマボッサ」にスポットを当ててみたいと思います。



ハマボッサ

Lysimachia mauritiana

サクラソウ科、日本では北海道から沖縄まで分布しています。海岸付近で見られる越年草。葉は肉厚でつやがあるので見分けがつきやすいです。花は白く、4 月下旬頃から咲き始め、GW 頃に満開になります。ビジターセンターでは種殻をリースの素材として使用しています。

2015 八丈ビジターセンター 1 プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。左側が満潮時刻、右側が干潮時刻です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
	 この色の日は 特別行事があります			1 ガイドウォーク	2 ガイドウォーク	3 ガイドウォーク
年末年始特別行事「体験八丈太鼓」 03:41 08:42 04:39 09:49 05:23 10:40 14:32 21:42 15:24 22:27 16:09 23:06						
4 ガイドウォーク 06:00 11:21 16:49 23:42	○ 5 06:34 11:57 17:25	小寒 6 07:04 00:15 18:00 12:30	7 07:34 00:47 18:34 13:01	8 08:02 01:18 19:08 13:33	9 08:30 01:48 19:42 14:07	10 ガイドウォーク 08:58 02:18 20:20 14:45
11 ガイドウォーク 植物公園 季節調査会 09:29 02:49 21:03 15:30	12 ガイドウォーク 10:04 03:22 22:00 16:26	● 13 10:45 04:00 23:25 17:37	14 11:36 04:51 18:58	15 01:21 06:06 12:39 20:09	16 03:00 07:44 13:45 21:07	17 ガイドウォーク 04:04 09:06 14:44 21:55
18 ガイドウォーク 04:52 10:07 15:37 22:40	19 05:35 10:57 16:27 23:24	●大寒 20 06:15 11:41 17:15	21 06:54 00:07 18:02 12:25	22 07:31 00:49 18:49 13:08	23 08:08 01:30 19:37 13:52	24 ガイドウォーク 八丈学講座 「巣箱を架けよう」 08:45 02:11 20:26 14:39
25 ガイドウォーク 09:21 02:50 21:20 15:29	26 09:58 03:29 22:24 16:28	● 27 10:40 04:10 23:54 17:39	28 11:33 05:01 19:04	29 02:03 06:25 12:44 20:25	30 03:46 08:25 14:02 21:27	31 ガイドウォーク 04:40 09:45 15:07 22:14

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！
1/11（13:30～ 約1時間半）
中学生以上 ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名

八丈学講座 「巣箱を架けよう」

毎月行っている八丈学講座。今月は、シジュウカラ用の巣箱を園内に架けます。
1/24（13:30～ 約1時間半）
中学生以上 ビジターセンター集合・解散 参加費：50円 定員：15名

年末年始特別行事 「体験八丈太鼓」

ビジターセンターの年始といえばこれ！ て～こ、はたきにおじゃれ！
1/1～3（13:30～16:45）いつでも・だれでも・無料

ビデオプログラム

10:00～ 八丈・海・生きものたち
11:00～ おじゃりやれ 八丈島
14:00～ おじゃりやれ 八丈島
15:00～ おじゃりやれ 八丈島
16:00～ 八丈・海・生きものたち
上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2015.1.1 第164号

開館時間 9:00～16:45 年中無休（入場無料）
〒100-1401
東京都八丈島八丈町大賀郷2843
電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

編集後記

ウミウシの人気が出始めたのは20年前くらいでしょうか？あの頃は名前を調べるのも一苦労でした。その後、ガイドブックなどが発売されて調べやすくなりましたね。でもまだまだ分からないことだらけ。中野理枝博士のような研究者に期待しています。（高）